

火の魂カンパニーで働く皆さんいつも本当にありがとう。

11月に入り寒い日も多くなったと感じています。

緊急事態宣言も全国的に解除されて、現段階では通常の生活に戻りつつありますが、変わらず体調管理、特に手洗いうがいなどの良い習慣は継続してください。

今年も残り2ヶ月を切りましたので、来年にスタートダッシュできるように、年末に向け目標をもって日々成長していきましょう！

---

社会での成長とは？出来ないことが出来るようになること、60分かかることが50分で早く出来るようになること、日々成長するために挑戦していこう。

---

さて、今月の社長からの手紙は、プロフェッショナルとアマチュアの違いについて書いてみたいと思う。私はプロとアマの違いは社会人で成果を出す人と成果を出さない人の心構えの違いだと考えている。※とは言え私の20代は社会人でありながら、かなりのアマチュアな考えで生きていましたが……。社会に出てもアマチュアな考えでは、出来ない理由、言い訳、当事者意識の欠落と仕事で成果が出ずそれが自身の人生や将来の生活に直結していく。本来、社会はお客様が居て、そのお客様にサービスを提供しお金を頂いている。これは会社がではなく、働いている人の全てが「お客様からお金を頂いている」のだ。お客様にとって価値の高い人は、その対価が大きくなるし、お客様にとって価値の低い人は、得られる対価は当然のごとく低くなるのです。

しかし社会人として働いていると、お金を会社から貰っていると勘違いしてしまい、お客様をないがしろにしてしまう現実が多く見えるように思います。

本来、プロの世界は非常に厳しい評価が下され、お客様に喜んでもらえない人は戦力外として通告されるのがプロフェッショナルな世界でもある。

※とは言え、私はプロフェッショナルな人財を育てたいと考えているし、働く人を雇用している責任者として、戦力外で解雇は絶対にしないと誓います。

何が言いたいのか？プロ野球選手もお笑い芸人を目指す人たちも、お客様に喜んでもらえないならば、明日の生活も保証されていないから、毎回毎回は本気でチャレンジしているし、お客様を喜ばせる事ができないなら、「できる範囲でやろう」とか考えずに、出来ないならできるまで練習するのがプロとしての自覚だと思う。私は目の前のできないことをできるようにするまで練習して、できるようになって成長をし続けてきた自負がある。

だから私はプロ経営者として、これからもできないことに対して努力を惜しまない。

社会人として、新たな生活をする人に、できるまで練習というプロの自覚を学んでほしい。

---

できないなら、できる範囲で一生懸命やりなさい、とは考えない。できないなら、できるまで練習しなさい。プロなんだから当たり前ではないか 【野村克也 名言集より】

---